

2013年1月3日(木曜日)



## 新春対談 広めよう!ふるさと福井の魅力

高速交通ネットワークの整備が進む今こそ、本県を全国に発信する絶好のチャンスです。  
そこで、平成25年の新春を迎え、西川知事と福井県出身の俳優の大和田伸也さんが、ふるさと福井の魅力をどのように高め、発信していくかについて語りました。

### 交通網の整備は大きな好機



にしあわ いっせい  
福井県知事 西川 一誠

—大和田さんは、敦賀市のご出身ですね。印象に残っている思い出やエピソードなどはありますか。

**大和田** 敦賀は生まれてから大学で東京に行くまで過ごした場所で、いろいろな思い出があります。

夏は、氣比の松原で泳いだり、港に国際船が入港すると、みんなで見に行ったものです。

敦賀だけでなく、秋には武生の菊人形にも行きました。

私がデビューしたときには、福井市で歓迎会を開いていただき、そのときには、福井のいろいろな場所の写真を撮り歩きました。

また、大和田家は朝倉氏の流れらしく、朝倉氏ゆかりの場所などを番組で紹介したりもしました。

—福井県のいろいろな場所で楽しんでこられたんですね。  
福井県にはたくさんの魅力がありますね。

**知事** 福井県は、自然が豊かで、四季がはっきりしています。

また、大和田さんのご出身の敦賀で言うと、氣比神宮は、日本で一番古い歴史書「古事記」にも出てくる由緒ある場所です。

新しい話としては、敦賀港が整備され、北海道との航路や、去年は中国との航路が開設されました。県内の多くの企業の皆さんにお使いいただいています。

—大和田さんが敦賀におられた頃と比べて、今の福井はどう変わりましたか。

**大和田** 昔は、東京まで出るのにずいぶん時間がかかりましたが、今は割合早く、3時間くらいで到着します。

—交通の面でずいぶんと便利になっていますね。

**知事** 平成26年度には、舞鶴若狭自動車道が全線開通し、北陸自動車道と連結します。また、北陸新幹線が金沢まで開業しますから、とても便利になりますね。



北陸新幹線の金沢開業は、誘客やビジネスの大きなチャンス

—交通網が整備されると、いろいろなチャンスが広がりますね。

**知事** 交通条件がよくなるこの機会に、ただ待っているのではなく、あらかじめ準備も始めています。観光や企業誘致などについて、こうしたチャンスを活かす必要があります。

## 福井は魅力がいっぱい

—この機会を活かしていくためには、どういったことが大事でしょうか。

**知事** 福井は、とにかく魅力的なところです。

海・山・川があり、古い町並みもあります。

ふるさととしてはもちろん、観光客にとっても魅力的な場所はたくさんあります。

たとえば、今回映画で撮影した、越前海岸や、池田町の能面の里、越前町の陶芸村などですね。嶺南も、氣比神宮をはじめ、いろいろと紹介させていただきました。

こうした観光スポットはもちろん、何気ない風景もまた素敵です。ぜひ実際に福井県に来て、見ていただきたいですね。

やはり海の幸がおいしいですし。最近は、お酒も評判ですね。



おおわだ しんや  
大和田 伸也さん

俳優。福井ふるさと大使。

1947年、敦賀市生まれ。劇団四季を経て、NHK朝の連続テレビ小説『藍より青く』で人気を得る。その後『水戸黄門』などのテレビ、『踊る大捜査線』シリーズの映画など、幅広く活躍している。

—福井の良さを、どのようにPRしていくかが重要ですね。

**知事** 早く交通が便利になるように、新幹線の開業を早めるなど、いろいろなことがあるのですが、同時に、福井の食・歴史・文化などを結びつけて、その魅力を高めることも重要です。

また、北関東の大宮や高崎などで、越前がにや恐竜をPRし、観光業の方にも売り込んでいます。

—福井県のPRに、欠かせないものと言えば。

**大和田** 恐竜ですね。

国内の恐竜化石の約8割が福井で発掘されていますが、意外と皆さん知らないんです。

世界3大恐竜博物館があるということも知られていません。

そこで、映画の中で、登場人物がそのことを説明するシーンもつくりました。ぜひ、もっと多くの方に知ってほしいですから。

—恐竜は、福井が誇るブランドですね。

**知事** ダントツのブランドですね。

学名のついた恐竜もたくさんありますし、東京や横浜の恐竜展では、短い期間に、恐竜博物館の年間来館者数の半分近くの方にお越しいただきました。

—恐竜の発信拠点である恐竜博物館でも、新たな取組みが行われるそうですね。

**知事** 恐竜博物館では、3月から、15mくらいある大型恐竜「カマラサウルス」の骨格の組み立てを始めます。このカマラサウルスは、ほぼ全身の化石が残っており、大変貴重なものです。

その組み立ての様子を見ていただくとともに、組み上げ後に本格的な展示も行います。

さらに今後、博物館の奥にある発掘現場に、子どもたちが実際に発掘をできる場所を数年のうちに整備します。

—見るだけでなく、触れるということですね。

**知事** そうですね。そして、何日間か滞在して楽しんでいただくプロジェクトを進めたいと考えています。

## 映画でも福井をPR

—ぜひ多くの方に恐竜博物館に来ていただきたいですね。

さて、その恐竜がタイトルにもなっている映画「恐竜を掘ろう」がまもなく公開となります。

**大和田** 恐竜のほか、越前焼や、越前和紙などの伝統工芸もキーポイントとして出てきます。

物語としては、大人も子どもも、いろんな立場の人がどうやって生きていくか、人と関わっていくかということがテーマです。

そこから生まれる温かいものが、映画の魅力の1つですが、同時に、どうやって恐竜博物館や恐竜にたどりつくかも見どころです。

—県内の魅力や、人間ドラマなど、様々な要素が詰まっているのですね。

**大和田** 映画には、多くの方に出演してもらいました。

皆さん、福井県はこんなにも魅力的な県だったのかと、再認識されたようです。

—映画の公開が楽しみです。

**知事** 映画が全国で上映されることで、福井の魅力を知ってもらい、我々も、福井の魅力を再発見できそうです。大いに期待しています。

**大和田** 映画を見た後に、全国の方が福井にいらして、ロケをした場所はどこだろうと探していただく楽しみもあると思います。



大和田さんが監督の映画「恐竜を掘ろう」はオール県内ロケ。2月23日から県内で先行上映される

## 今年の抱負

—最後に、お二人の今年の抱負をお聞かせください。

**大和田** 「恐竜を掘ろう」を大勢の方に見ていただきたいですね。まず福井で火がついて、全国でも話題になるといい。映画をきっかけに福井県が盛り上がることを楽しみにしています。

もちろん役者としても、いろいろな役に挑戦したいと思っています。

**知事** 交通条件がきわめてよくなりますから、これを活かし、福井の魅力を全国に発信していきます。福井の魅力は知られていないことがまだまだありますから、これが大事ですね。

また、今年は里地里山の世界大会がありますので、福井の自然についても知っていただきたいです。

そして、大和田さんには、これからも福井ふるさと大使として、ご家族も含めて福井を応援していただきたいですね。